



2015年 **2/1** (日) 13:00-17:00

同志社大学寒梅館ハーディーホール

京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町 103
京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅2番出口から烏丸通りを北進して徒歩1分

2012年2月12日に起点を持つ「つどい」とは、「認知症を生きる人たちから見た地域包括ケア」に言葉を与えようとした試みであり、認知症本人の視点に立脚したところに世界と呼応する普遍性がありました。その後の京都の展開は、認知症の「私」を主語にして2018年3月の京都を描いた「10のアイメッセージ」へと昇華し、それが「京都市オレンジプラン」の最終目標となりました。海に向こう、英国の国家認知症戦略の理念であり最終目標でもある「Living well with dementia」と同様、京都の行方を照らす道標です。

京都市オレンジプランを画餅に終わらせないためには、「中間年評価」の成否が鍵を握ります。それを成し遂げることが第三回つどいの位置ですが、そこに国の動きが重なりました。11月に開催されたG8認知症サミット後継イベントが起点となり認知症国家戦略策定作業が進行しています。回天の時を迎える中で、私たちは2月1日に臨みます。

京都の認知症医療とケアの姿を初めて数値化することに成功した2012年のデルファイ法調査。今回は2012年と2015年の「変化」を数値的指標で示し、現時点での本人と家族の思いを「アイメッセージ評価」を指標に可視化します。パネルディスカッションは、3年間の京都の軌跡を言葉に刻み、2018年3月最終年への道筋を描きます。京都市オレンジプランの中心に位置するのが、認知症の「私」を主語にした「10のアイメッセージ」であり、認知症本人の声を政策評価の指標としたところに京都のアドバンテージがあります。現在準備が進む国家戦略の柱に「認知症本人の視点」が入り、認知症の人の意見を政策に反映する姿勢が鮮明になったことで、京都の「本人評価」は時代の命運を握ります。こうした評価が可能な自治体は、日本の中では京都だけかもしれません。認知症国家戦略と同質性を持った挑戦であり、その成否は京都だけでなく日本全体とその行く末に大きく影響します。私たちの魂が試される時を迎えました。

つどいの聖地、寒梅館ハーディーホールでお待ちしております。

森 俊夫 (京都府立洛南病院・認知症疾患医療センター)



開会の辞

基調報告 森 俊夫氏 (京都府立洛南病院・認知症疾患医療センター)

当事者メッセージ

調査報告

- ①武地 一氏 (京都大学医学部附属病院神経内科)
2012年と2015年の京都(デルファイ法による京都の認知症ケアの数値的比較)
- ②辻 輝之氏 (中京東部医師会)
認知症の人が望む10のアイメッセージ本人評価
- ③調整中 (認知症の人と家族の会調査研究員)
家族が望む10のアイメッセージ評価

パネルディスカッション ～私たちはどこまでできたのか～ (最終年に向けた課題と認知症国家戦略の道標)

- 座長 森 俊夫氏 (京都府立洛南病院・認知症疾患医療センター)
- 井上 基氏 (京都府介護支援専門員会)
- 佐野友美氏 (中宇治地域包括支援センター)
- 宇都宮宏子氏 (在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス)
- 河合雅美氏 (認知症の人と家族の会)
- 武地 一氏 (京都大学医学部附属病院神経内科)
- 辻 輝之氏 (中京東部医師会)

文書採択

閉会の辞

参加費:1000円

申込締切日:1月28日(水)まで!

※参加をご希望される方は、別紙の参加申込書を作成し、FAXにてお申込ください。メールによるお申込みも賜ります。
※会場周辺には駐車場がありません。ご来場の際は、地下鉄等の公共交通機関をご利用頂きますようよろしくお願いいたします。

後援予定 京都府、京都市、宇治市、京都地域包括ケア推進機構、京都府医師会、京都府介護老人保健施設協会、同志社大学社会福祉教育・研究支援センター
主催 第3回京都市認知症ケアを考えるつどい実行委員会 (構成団体: 京都社会福祉士会、京都府介護福祉士会、京都府介護支援専門員会、京都地域密着型サービス事業所協議会、京都府認知症グループホーム協議会、京都府地域包括・在宅介護支援センター協議会、京都市地域包括支援センター・在宅介護支援センター連絡協議会、認知症の人と家族の会、認知症の人と家族の会京都府支部、京都府老人福祉施設協議会、京都市老人福祉施設協議会、西京区認知症地域ケア協議会、中京区認知症連携の会、京都府理学療法士会、京都府作業療法士会、上京区通所介護・小規模多機能事業所連絡会ささえ愛の会、京都府立洛南病院・認知症疾患医療センター、中京区在宅医療センター/中京西部・東部医師会、京都市デイサービスセンター協議会、京都市長寿すこやかセンター、京都府看護協会、ボストセミナー (日本病院・地域精神医学会京都総会「認知症セミナー」の継続)、宇治久世医師会、京都認知症カフェ連絡会)

【お問い合わせ先】 第3回京都市認知症ケアを考えるつどい実行委員会事務局
〒601-1371 京都市伏見区醍醐上ノ山町 11 番地 社会福祉法人同和園内 (橋本・孫)
TEL:075-571-0010/FAX:075-571-0473/Mail: kyotobunso2012@gmail.com/URL: http://kyotobunso2012.jimdo.com

京都市オレンジプラン中間年評価から認知症国家戦略へ
私たちはどこまで来たのか
アイメッセージ本人評価が開示する世界



第3回京都式認知症ケアを考えるつどい 参加申込書

第3回京都式認知症ケアを考えるつどいへのご参加を希望される方は、下記の内容のご記入の上、FAX・メールにてお申し込みください。申込締切は 2015年1月28日(水) までとさせていただきます。

FAX 送信先：075-571-0473 (表紙不要)

メール送信先：kyotobunsyo2012@gmail.com

1. 参加者氏名：	(ふりがな)		
2. 所属機関(団体)名：			
3. 連絡先：TEL	FAX：		
4. 該当する箇所に✓印をしてください。(複数回答可)			
<input type="checkbox"/> 職業として認知症ケアに関わっている	<input type="checkbox"/> ボランティアとして認知症ケアに関わっている		
<input type="checkbox"/> 現在ケア中	<input type="checkbox"/> 過去にケアしていた	<input type="checkbox"/> 認知症本人	<input type="checkbox"/> ケア経験なし
5. 連絡事項：			

1. 参加者氏名：	(ふりがな)		
2. 所属機関(団体)名：			
3. 連絡先：TEL	FAX：		
4. 該当する箇所に✓印をしてください。(複数回答可)			
<input type="checkbox"/> 職業として認知症ケアに関わっている	<input type="checkbox"/> ボランティアとして認知症ケアに関わっている		
<input type="checkbox"/> 現在ケア中	<input type="checkbox"/> 過去にケアしていた	<input type="checkbox"/> 認知症本人	<input type="checkbox"/> ケア経験なし
5. 連絡事項：			

1. 参加者氏名：	(ふりがな)		
2. 所属機関(団体)名：			
3. 連絡先：TEL	FAX：		
4. 該当する箇所に✓印をしてください。(複数回答可)			
<input type="checkbox"/> 職業として認知症ケアに関わっている	<input type="checkbox"/> ボランティアとして認知症ケアに関わっている		
<input type="checkbox"/> 現在ケア中	<input type="checkbox"/> 過去にケアしていた	<input type="checkbox"/> 認知症本人	<input type="checkbox"/> ケア経験なし
5. 連絡事項：			

※本申込書にていただいた個人情報は、個人情報保護法及び関連法令に関連する規程類に基づき適正に管理、保護し、目的以外の利用や第三者への情報提供は行いません。

※本つどいについてご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせください。